

# 編集後記

一年中でもっとも寒い二月の号ですが、「あたたかい」という言葉にまつわる話題を特集しました（動詞シリーズ、からだの部分シリーズに続き、形容詞シリーズを企画しています）。様々な分野の方々からいろいろな温もりを伝えていただき、「あたたかい」は、血が流れ生きている人の体温なのだと感じました。

近頃、考えや意見が微妙に食い違う場合に「温度差がある」という表現をよく耳にします。考えや意見そのものの差異としてではなく、それぞれの人間を介して生じる仕方のない個人差がそこには想定されているように聞こえます。

寒い朝、お母さんのぬくもりが残る布団にもぐりこむのは、なんともいえない気持ちでした（一方、電車などで前の人のぬくもりが残る座席にすわるのは、ちよつと生々しくもあり、まさに「なま」あたたかいという表現になります）。考えてみると、保育においてお互いの体温のあたたかさは本質的なファクターなのかもしれません。こごえた手が保育者のあたたかい手に包まれるときの驚きと安堵感、保育者におこを合わせて体温をみてもらうときのすてきな接近、小鳥やウサギを抱いた時に感じるあたたかい生命感、どれもお互いの大切な温度差によつてたらされる命と命の出会いなのだと見えるでしょう。人のあたたかさ、気づきやすくなるというのが、寒い季節の恩恵かとも思います。（浜口）

## 幼児の教育

第一〇四巻 第二号

(二〇〇五年二月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十七年二月一日

編集兼発行人 浜口順子

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8620 東京都文京区大塚二丁目

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五丁目二丁目

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一―四一九

☎〇三―五三九五―六六一三(営業)

☎〇三―五三九五―六六〇四(編集)

振替 〇〇―一九〇―一一一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」をお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。